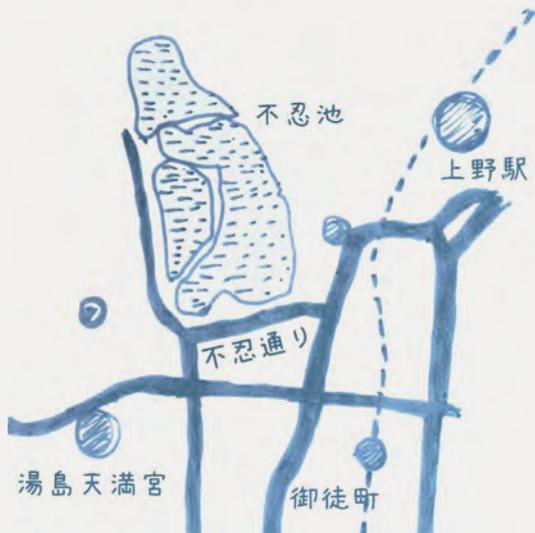




しのばずいけまち研究会

SHINOBAZU IKEMACHI MEETING CONCEPT BOOK | 2021 - 2023



不
忍
通
り
で
ほ
こ
み
ち
を
か
ん
が
え
る
。

》》 もくじ

まちづくりは、クルマからヒトへ。	2
上野は、豊かな街路文化のまち。	4
不忍通りは、もっとヒト優先になれる。	6
目指すのは「不忍池とともに生きるまち」。	8
「しのばずいけまち研究会」	10
調査のまとめ① 不忍通りの移り変わり	14
調査のまとめ② 不忍池が纏う文化性	16
調査のまとめ③ 不忍通りのいま	18
ワークショップでの意見	20
“ほこみち制度”を使ってみる。	22
不忍通りで掲げる 6つのコンセプト	24
もしも車道を狭めることができたなら。	26
こんな車線の減らし方があるのでは？	28
育てたい、こんな風景やアクティビティ。	30
こんな機能も組み込めるかも。	32
音楽堂も時代にあわせて見直したい。	33
できることから、アクションを展開中。	34
照明実験 in 不忍池のほとり	36
不忍池ブックカフェ 池のほとりの本のみち	38
“三角広場”日替りブックカフェ	42
最先端のウォークアブル都市を目指して…	44
この冊子について／研究会参加メンバー一覧	46

上野は、豊かな街路文化のまち。

このまちこそ、東京を代表するウォーカブル先進地になれるはず。

- 1) 『台東区今昔物語 第12回上野広小路』 <http://www.e-navilife.com/taito/story/06/06/index.html>
- 2) 台東区『平成30年度 台東区観光統計・マーケティング調査報告書』2018
- 3) 上野観光連盟『上野公園とその周辺目でみる百年の歩み』1973より 1972年4月の上野広小路の歩行者天国
- 4) 保坂三蔵編『東京上野の五百年』1983, 東洋堂企画出版社より引用

》》 かつてのホコ天をはじめ、街路文化が豊かな上野。

上野は歴史的にも、路上空間が様々な形で豊かに利用されてきたまちだ。寛永寺参道として栄えた「上野広小路」。北の玄関口として賑わいを見せた上野周辺には路面電車が3系統走り、「東洋一長い歩行者天国」もあった。そして、間口の狭い店が立ち並ぶ「アメヤ横丁」は、現在でも上野の路上文化のシンボルとして多くの観光客を呼び寄せている。

》》 しかし実空間は、ほとんどクルマのため。

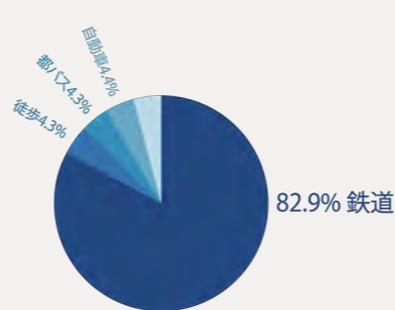
自動車の増加に合わせ、渋滞解消のために上野駅前には徐々に自動車優位の空間となり、歩行者の利便性は下がる一方となった。来訪者誘致のための巨大地下駐車場も整備されるが、実際の来訪者は9割以上が公共交通を利用して。上野を訪れた人々をまず迎え入れる風景が駅前に広がるタクシー広場や幹線道路となっているのはあまりにもったいない。



「上野広小路」¹⁾



「アメヤ横丁」



上野来訪者の交通手段²⁾



「歩行者天国」³⁾



「外飲み」



「路面電車」⁴⁾



広い車道に比べて細い歩道



閉鎖的な音楽堂バックヤード



緑豊かな不忍池畔遊歩道



上野の歩行者空間



駅前に広がるタクシー広場



片側3車線の大きな交差点

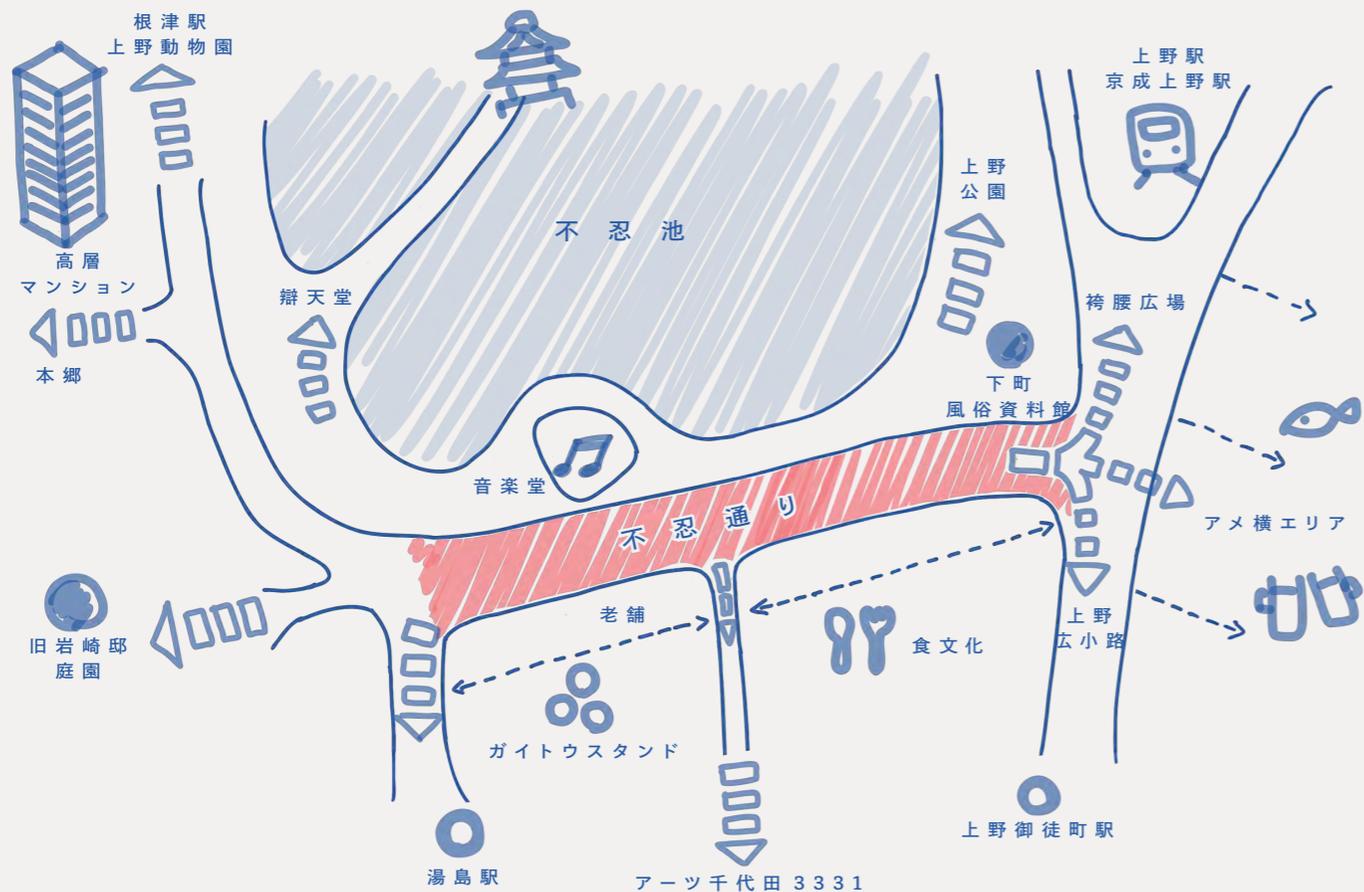


車道が分断する池とまち

不忍通りは、もっとヒト優先になれる。

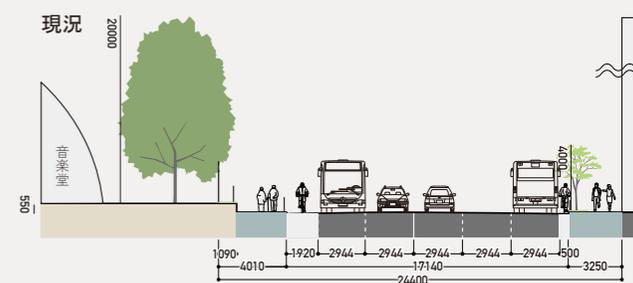
池とまちの接点から、上野のウォークブルを構想する。

着目するのは、
不忍池の南側の区間。



現状の不忍通りは
最大で5車線

不忍通りの同区間は片側2車線、交差点付近では最大で5車線。道路幅員は約24mで、うち歩道は約3mしかなく、約17mが車のための空間として計画されている。
周辺の幹線道路に比べると自動車交通量は少ない印象があり、閑散としていることも多い通りである。



例えばこんなストリートも、幅員は不忍通りと同程度。



丸の内仲通り
千代田区／幅員 21m



新宿モア4番街
新宿区／幅員 22m



三宮中央通り
神戸市／幅員 25m



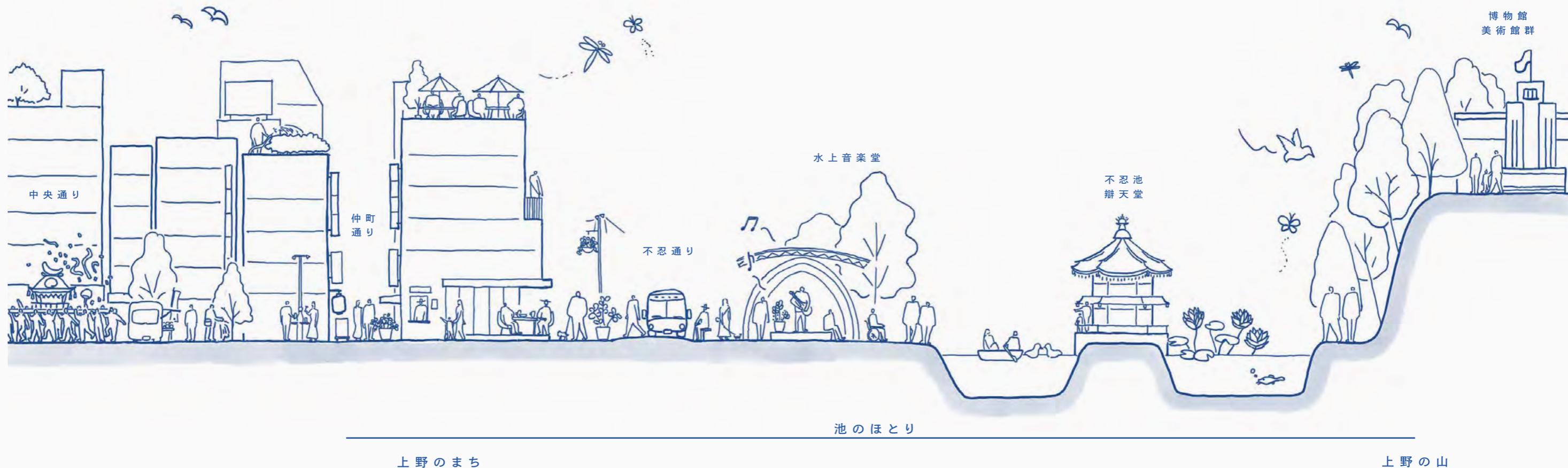
大手モール
富山市／幅員 27m

目指すのは「不忍池とともに生きるまち」。

「ウォークブル」で、池とまちをつなぎなおそう。

池とまちがつながれば、
山とまちもつながるはず。

上野のまちの積年の課題は「山から人が降りてこない」ことだと言われている。不忍通りがもっと渡りたくなる環境になり、まちと不忍池が溶け合うような関係をつくりたい。そうなればきっと、上野の山と上野のまちのつながりも生まれてくるはず。





2021年5月、スタート。

「しのばずいけまち研究会」

不忍通りから人のための空間をつくり出し、ウォーカブルな都市・上野を目指すことをテーマに、月1回の勉強会がスタートした。中心メンバーは、沿道の地元関係者の方々、界隈の新しいまちづくりを志す方々、東京大学都市工学科の都市デザイン研究室の面々。ある時は地元の空きスナックに、ある時はオンラインで。事例を学びながら、模型を囲んで、フラットな関係で議論を行っている。「しのばずいけまち研究会」のネーミングも、勉強会参加者の発案から決定したものだ。

不忍通りの 移り変わり

調査のまとめ ①

1908



明治初期



1967



1974



1990



1990



2014



2014



不忍通り周辺

上野全体

江戸時代

- 汚水流入を防ぐための水路+三橋設置

1875

1903

1907

1916

1930 ころ

1946

1950

1952

1953

1959

1968

1971

1973

1978

1980

1986

1988

1992

2001

2008

2009

2014

2016

- 忍川暗渠化・三橋撤去
- 道路拡幅
- 池の水が落とされ上野田圃に
- 不忍池で納涼大会開催
- 初代音楽堂完成
- 公園の夜間開放許可
- バス停設置
- 区立下町風俗資料館開館
- 不忍池地下駐車場建設計画
- 二代目音楽堂完成
植栽帯・園路整備
- 中央通り側公衆トイレ改修
- 地下駐車場出口設置
- 蓮見デッキ整備
- 蓮見茶屋閉業

- 不忍池を公園地に併合
- 都電開業
- 東京勧業博覧会
- トロリーバス開業
- 小規模低層の建物中心
- トロリーバス閉業・
都営バス開通
- 都電廃止
- 上野-銀座間のホコ天開始
- 成田空港開業
- 上野地区ホコ天終了
旧岩崎邸庭園開園
- 上野恩賜公園再生基本計画

- 不忍池で納涼大会開催

- 初代音楽堂完成

- 公園の夜間開放許可

- バス停設置

- 区立下町風俗資料館開館

- 不忍池地下駐車場建設計画

- 二代目音楽堂完成
植栽帯・園路整備

- 中央通り側公衆トイレ改修

- 地下駐車場出口設置

- 蓮見デッキ整備

- 蓮見茶屋閉業

- 上野地区ホコ天終了
旧岩崎邸庭園開園

- 上野恩賜公園再生基本計画

左上地図 『明治四十一年一月調査東京下谷区全図』台東区立中央図書館所蔵 撮影：大倉保五郎
 右上写真 『不忍池南側（水上音楽堂前交差点）』台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
 右上から二番目 『不忍池南側（水上音楽堂前交差点）』台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
 右上から三番目 『不忍池南側（水上音楽堂前交差点）』台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
 右下写真 台東区立中央図書館所蔵 撮影：台東区
 （※上記5点いずれもトリミング加工実施）

不忍池が纏う文化性

調査のまとめ②

point 1 上野の文化性は池への慈しみとともに

不忍池とまちは、平らにつながりあい、深く関わり合う。江戸時代から現在に至るまで、池を生活、文化、産業、芸術、眺望など様々に取り入れてきた。戦後の田圃化を経て、野球場建設計画や戦後の地下駐車場計画など、不忍池の危機はいつも、地元が声を上げて乗り越えてきた。

point 2 文学の薫り高い不忍池

池畔という独特の環境と雰囲気は、文化人を惹きつける。茶屋の艶やかな賑わい、文明開化による激変など不忍池を舞台とした数々の出来事は、絵図や文学作品に描かれてきた。不忍池は物語を生み出し続ける場所なのである。

point 3 水上音楽堂は池とまちなシンボル

水上音楽堂は戦後、不忍池への野球場建設計画に反対した住民運動を踏まえて、1953年に石川栄耀によって実現された。まちが池を守ったシンボルとしての施設である。その初代は舞台の背景が不忍池となっており、まちにも池にも開かれた空間構成を取っていた。

- 1) 国立国会図書館デジタルコレクション『錦絵でたのしむ江戸の名所』
- 2) ジャパンアーカイブス
- 3) 『俳風末摘花』初編より引用
- 4) 小林綾英《上野乃満花不忍競馬之図》1889年
- 5) 地理院地図より作成
- 6) 『上野繁昌史』より引用
- 7) 『上野繁昌史』より引用
- 8) 読売新聞 1950.01.07 夕刊
- 9) 読売新聞 1989.10.10 朝刊



▲歌川広重「江戸高名会亭尽 池之端」¹⁾



▲横山松三郎が門弟越しに撮影した不忍池(1872)²⁾



▲絵葉書/上野眼科医院屋上より不忍池を望む(1929)



▲不忍池の出合茶屋での逢ひ引き³⁾



▲不忍池周辺の地形⁵⁾



▲1951年夏に開催された納涼祭⁶⁾



▲池畔の競馬場の賑わいを描いた錦絵⁴⁾



▲江戸趣味納涼大会⁷⁾



▲不忍池野球場建設計画(1950)⁸⁾



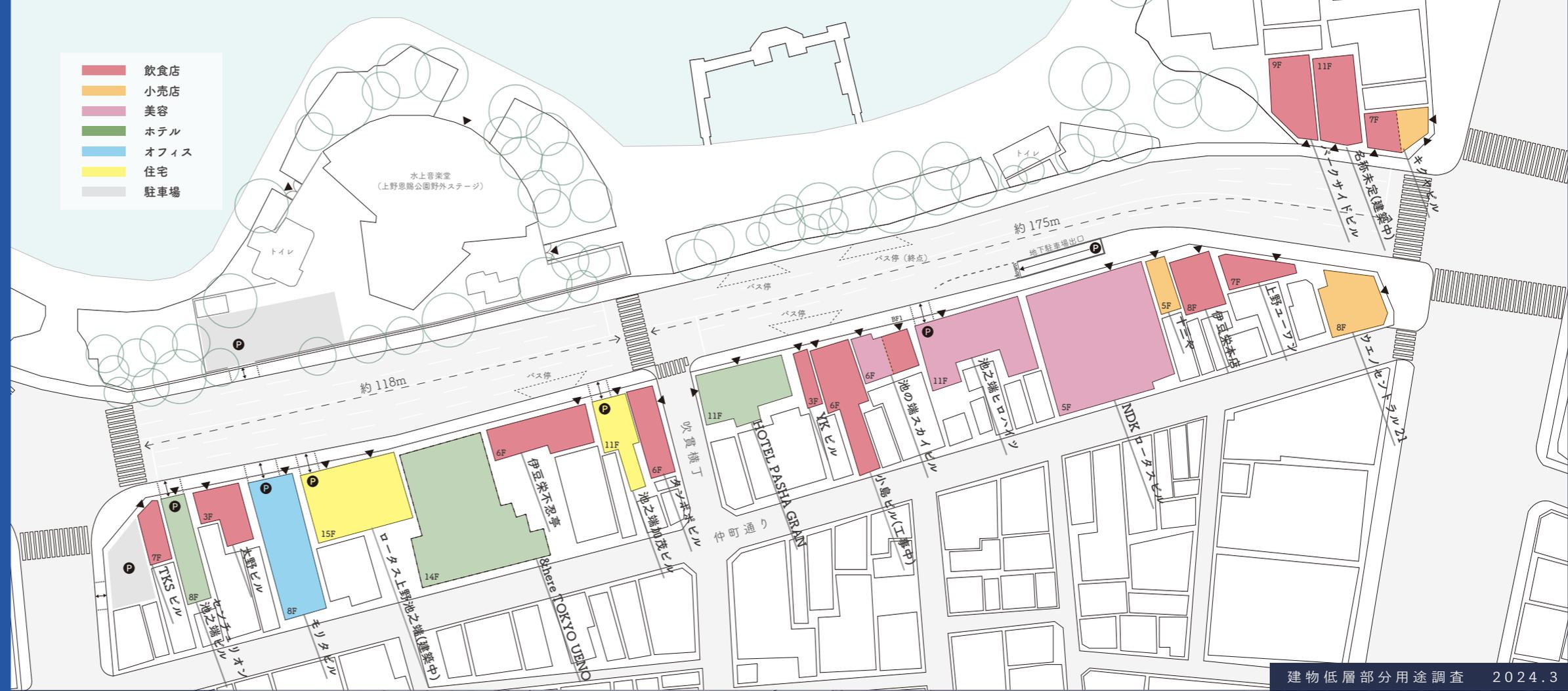
▲不忍池地下駐車場計画(1986-) ⁹⁾



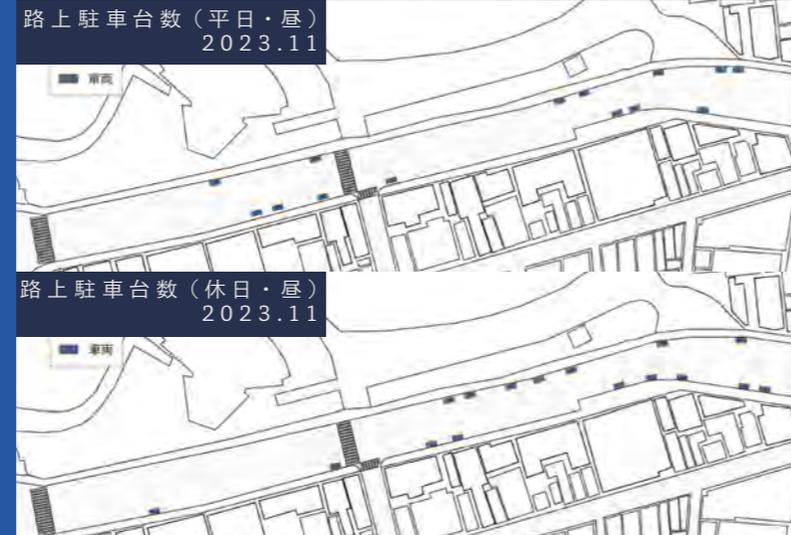
▲水上音楽堂×デジタル掛け軸(2021)

不忍通りのいま

調査のまとめ ③



建物低層部分用途調査 2024.3



不忍通りへの 課題と期待

ワークショップでの意見



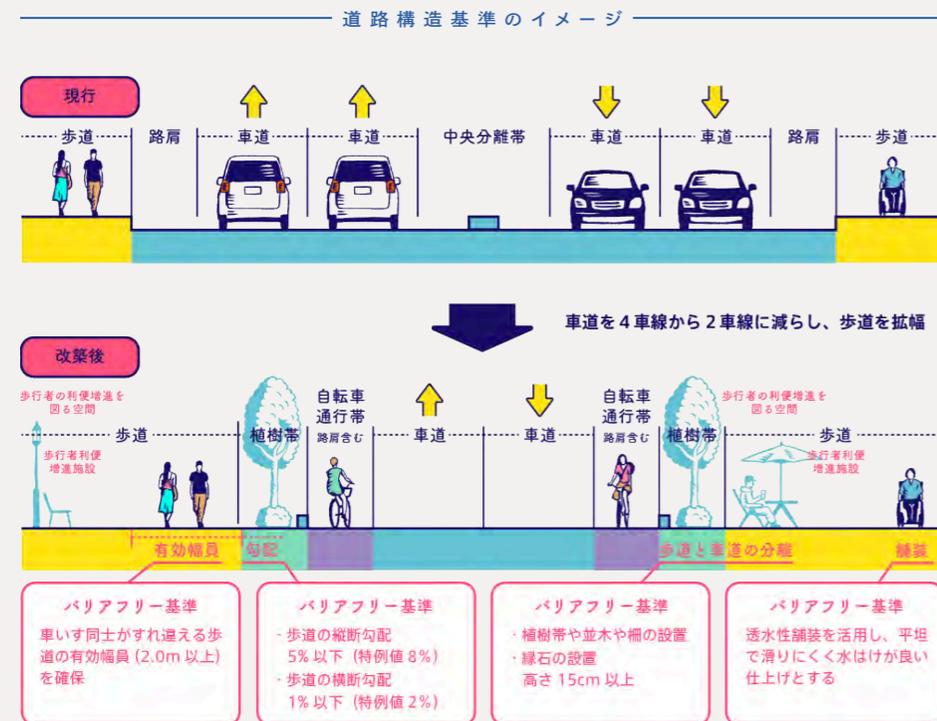
不忍通りにピッタリな、できたばかりの新制度。

“ほこみち制度”を試してみる。

※ 制度説明は「ほこみち研究会」ホームページを参考・引用
 ※ 一部事例画像は各自治体のホームページより引用

「ほこみち」でできること

2020年11月に、道路法等の一部が改正され、「ほこみち制度」が創設された。正式名称は「歩行者利便増進道路」。道路空間をどのように使いたいかを地元主体で決めていけるもので、安心して歩ける、歩いているだけで楽しくなる、人中心の道路空間が目指されている。ほこみち制度の利用には、道路管理者（不忍通りの場合は東京都）がほこみち区域を道路上に指定することが最初のステップとなる。指定区域では、道路占用許可が柔軟に認められ、様々な施設を設置・運用できる。個店単位でも申請可能な制度だが、エリアマネジメント団体や商店街等の組織が占用したい道路を一括管理し、地域にあった運用を行うことも可能である。



「ほこみち」のメリット

道路を交通処理のためのスペースから、賑わい創出のためのスペースと捉え直す「ほこみち」では、来街者や歩行者が街そのものを楽しみながら歩けることはもちろん、周辺店舗・地元商店街・自治体それぞれにとってメリットがあり、三方よしの状況を生み出すことが可能である。

周辺店舗もうれしい

- 通行量が増え、集客が増加する。
- オープンカフェ等を設置したり物品棚を配置でき、店舗面積が実質的に広がる。
- 裏通りの店舗もポップアップストアなどで表通りに参加可。

商店街もうれしい

- 通行量が増え、地価や賃料が長期的に見て上昇する。
- 道路でイベントを開きやすい。
- 商店会加入の増加が見込める。
- 広告料収入で維持・管理費用を賄う持続的な仕組みが可能。

自治体もうれしい

- 占用料を得ることが可能。
- 地元が道路の日常点検を担ってくれることによる負担減。
- 道路に人目が生まれることで、地域の美化や治安改善にもつながる可能性。

全国各地の「ほこみち」事例

2023年5月末時点で、全国44自治体、計119路線が「ほこみち」に指定されている。東京23区内では、港区の新虎通りに続いて台東区の仲町通りが2023年12月に23区内で2番目の指定を受けたばかり。



「池とともに生きるまち」を表現する

地元がもっと不忍池に関わる。池のほとりで過ごす。不忍通りがその舞台。

様々な視点から池を楽しめる

立体的に池を享受する。屋上の活用や、視線の抜けを考える。

不忍通りで掲げる 6つのコンセプト

「音楽堂へ向かうみち」として魅せる

音を楽しむ。音楽堂からのBGM。鳥のさえずり。水之音。草木のざわめき。

自然や池にやさしい環境づくり

雨水が染み込み、生きものとふれあう、公園内に入った感覚になる道に。

境界を弱め、もっと気軽な行き来を促す

まちから池へ、池からまちへ。対岸を近く感じられる工夫を重ねる。

夜訪れたいくなる池のほとりへ

安心で安全。女性が安心して夜もそぞろ歩ける場所に。

もしも車道を狭めることができたなら

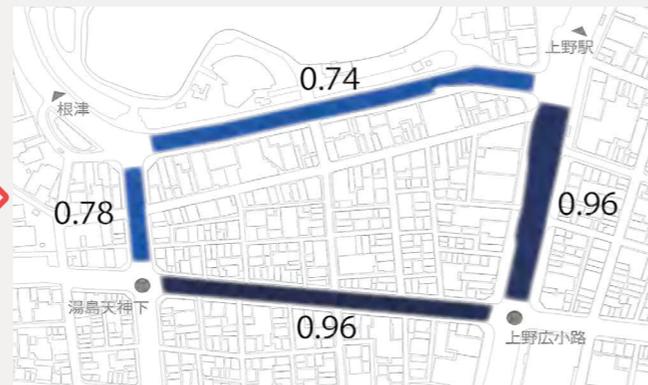
思い切って、歩道をひろげる。

交通シミュレーションをしてみると。

現状の混雑度



片側1車線にした場合の混雑度



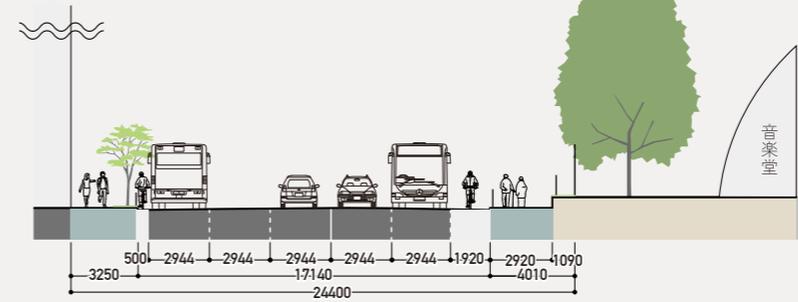
東京大学都市デザイン研究室が実施した交通量調査結果¹⁾と平成27年度道路交通センサスのデータを用いて、不忍通りの混雑度のシミュレーションを行った。現状の不忍通りの混雑度は0.60と余裕がある(1.00で設計容量通り)。不忍通りを片側1車線とし、一定交通量が周辺の道路に流れた場合をシミュレーション²⁾したところ、それでも不忍通りの混雑度は0.74に留まり、周辺道路も1.00を超えることはない想定される。

シミュレーション協力：坂田亮輔(東京大学大学院修士1年)

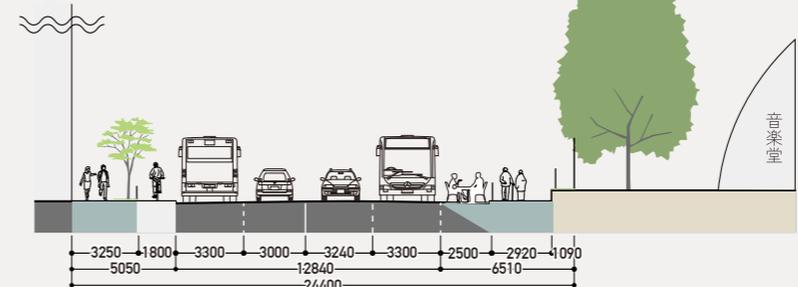
1) 平日昼に10分間交通量を測定。

2) 根津⇄不忍通り⇄上野駅を移動する自動車は現況ママ、湯島天神下⇄不忍通り⇄上野駅、上野広小路⇄不忍通り⇄根津を移動する自動車のうち、12時間当たり1000台分の自動車が春日通りを通ると仮定。

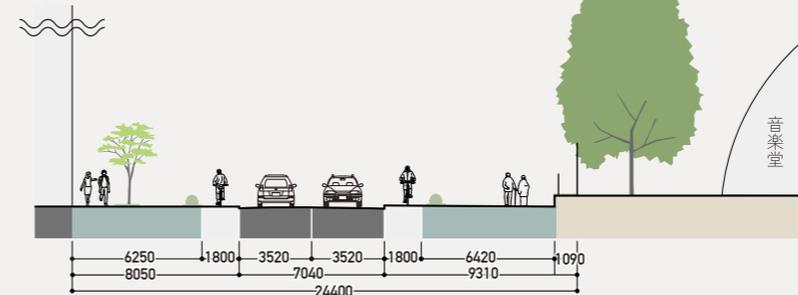
現状



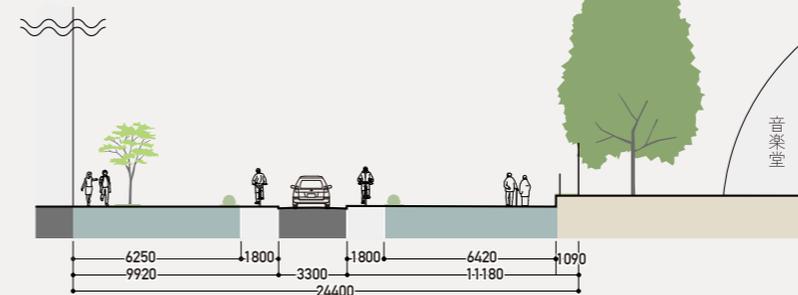
車道を5m狭めると...



車道を10m狭めると...

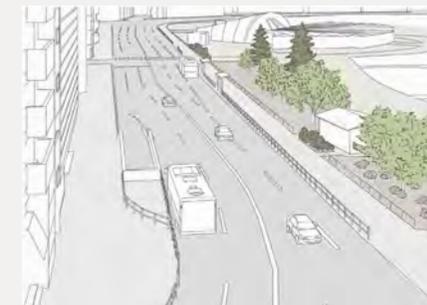


車道を15m狭めると...



こんな車線の減らし方があるのでは？

いろいろ考えられる、ヒト空間の生み出し方。



現状の不忍通り

pattern

1

フレキシブル車線導入案

片側1車線ずつを柔軟利用する案。曜日や時間帯による空間の使い分けも考えられる。



時間帯によって中央線をずらすなど車線を柔軟に使う案もある

あまり現状と変わらない感じもする

これくらいのイメージから社会実験してみたい

荷捌きやごみ収集のニーズを把握する必要があるそう

pattern

2

一方通行案

東から西への一方通行とする案。大幅に車道を削減し、歩道を拡大。



十分歩道が広くて、道路上カフェとかもつくれそうで面白い

仲町通りは反対向きの一方通行にしてみたら？

実現性が高いのではないかな

車道と歩道の一体化を不忍通り全体でやるのも面白そう

pattern

3

ロータリー化案

東端にロータリーを設け、折り返しルートに。中央通りとの交差点付近に広場ができる。



非常に夢のある話。一気に公園っぽくなる

周辺道路への交通負荷はやや心配

御徒町パンダ広場くらいの大きさの広場になりそう

いまの都バスを前提にすると回りきれない。未来の交通手段を想像したい

育てたい、こんな風景やアクティビティ。

アイデア集その①、使いこなし編。

生きもの観察もできる遊び場

身体を動かすきっかけが沢山

近隣住民がピクニックする水辺

ふらっと立ち寄れる音楽堂



音楽堂裏の水路で子どもたちと豊かな生態系を体感する



日常的に健康遊具の使用やラジオ体操がおこなわれる場所にしたい

日常的に音楽が聞こえてくる



演奏可能区画を確保して音楽堂のある暮らしをもっと感じる



音楽堂から流れる音楽や周辺の音を聞きながらピクニックができるかも

散歩する人々が気軽に通り抜けられる日常的に入れて、憩える場所

池のほとりに屋台やマルシェ



地元店舗のポップアップ出店も夜の賑やかさは池のほとりらしい風景

美しく安心な光環境



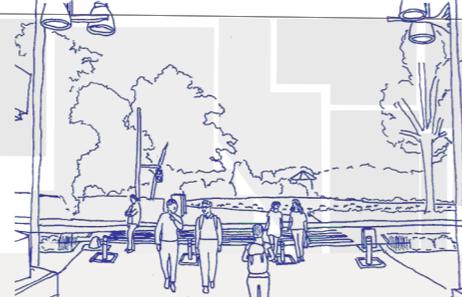
樹木や足元を照らすと明るく感じるイベント時にはイルミネーションも

思わず対岸へ



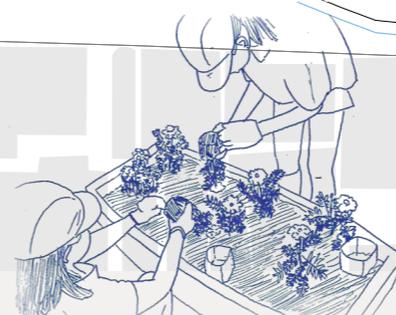
向こう側が前よりも近く感じる池とまち間の行き来がしやすくなる

吹貫横丁が池とまちの玄関に



まちから辯天堂を望む軸線かつての雪見橋の風情を取り戻しながら

地元住民が手入れに参加



まち側にも自然を増やしたい参加型の街路景観づくりの仕組み

オープンテラスが連なって



オープンテラスのある店舗が増えていく犬と一緒にランチもできる

こんな機能も組み込めるかも。

アイデア集その②、機能デザイン編。

シェアサイクルポート



テラス配置や観光バス乗降等のニーズを受け止める柔軟なレーンを設定

コンテナカフェ



道路上にコンテナカフェを置き公共トイレの管理にも目を配ってもらう

観光バス乗降スペース



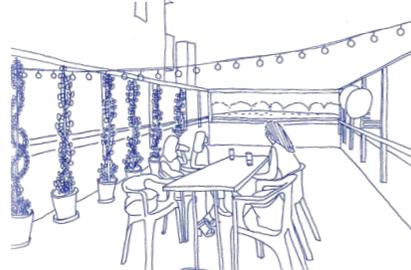
上野の山、上野のまちをめぐりやすい観光客の新たな発着点に

ライジングボラード



関係車両だけが進入可能
スマートな車のコントロール

屋上公開空地



池を眺めるテラスをつくと事業者側にもメリットがある仕組み

レインガーデン



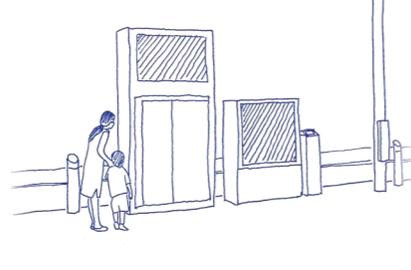
雨水が景色となり水がゆっくり地面に染みこむ雨の庭

充電&WiFiスポット



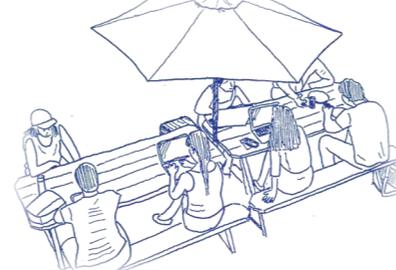
バス停まわりから居心地を向上「待つ時間」も豊かに

デジタル案内板



地域の催しをアピールしたり広告収益を道路運営に還元することも

アウトドアオフィス



池を眺めや音楽堂からBGMを楽しみながら作業ができる場所

音楽堂も時代にあわせて見直したい。

アイデア集その③、音楽堂デザイン編。

音響設備のスマート化

音響設備をまずはアップデート(指向性のあるものなど)して、まち側にあまり音が流れないようにする

池に面した カフェの併設



池が見える 客席・ステージ



日常的に 通り抜ける動線



バックヤードの改修

バックヤード(演者控え室他)をしっかり充実させる



できることから、アクションを展開中。

いろんなスタイルで、地域の方々と実験を重ねながら。



2022 秋 不忍通り意見交換会

都の「東京ストリートヒューマン1st事業」に関する
地元関係者への情報共有と意向収集
主催：しのばずいけまち研究会

2021 冬 / 2022 春 / 2022 秋 / 2023 秋

Peace of Light

水上音楽堂を活用した光と音の複合アートライブ
主催：ピースオブライト実行委員会ほか

2022 秋

照明実験 in 不忍池のほとり

公園内の夜間環境改善実験と利用者の意見収集
主催：しのばずいけまち研究会+東京大学大学院都市デザイン研究室

▶ P36-P37

2022 夏 いけまちウォーク

研究会メンバーで現場で課題を共有するまちあるき
主催：しのばずいけまち研究会

2023 秋

池のほとりの本のみち

本をテーマとした公園&道路一体活用実験イベント
主催：しのばずいけまち研究会+上野元黒門町会+池之端仲町商店会

▶ P38-P41

2021

しのばずホッププロジェクト

不忍池を望む屋上空間を活用した地産地消のビールづくり
主催：池之端仲町商店会+アーツアンドスナック運動実行委員会ほか

2022 春 / 2022 秋 / 2023 秋

Peace of Beer!

吹貫横丁を広場化した路上ビアフェス
主催：ピースオブライト実行委員会ほか

2023 秋

不忍通り「三角広場」 日替りブックカフェ

「歩行者利便増進道路（ほこみち）」指定を目指した社会実験第1弾
主催：しのばずいけまち研究会+上野元黒門町会+池之端仲町商店会

▶ P42-P43

2019 秋 / 2021 秋

アーツ & スナック運動

空きスナックを活用した歓楽街回遊型アーツイベント
主催：アーツアンドスナック運動実行委員会ほか

2020 秋

ガイトウスタンド

ウィズコロナに対応した
「呑める街灯」を使った新しい路上体験。
主催：池之端仲町商店会+上野二丁目仲町通り商店会ほか

2023 冬

仲町通りテラス席の「ほこみち」指定

ガイトウスタンド（2020年～）やしのばずナイトテラス
（2022年～）を踏まえた、「23区内区道初」のほこみち指定。
主催：池之端仲町商店会

照明実験 in 不忍池のほとり

action1: 公園内の夜間環境改善実験と利用者の意見収集

日時: 2022年9月22日(木)～9月26日(月)の夜間
 調査: 12:00 17:00 19:00 20:00 台
 主催: しのばずいけまち研究会+東京大学都市デザイン研究室
 協力: ぼんぼり光環境計画



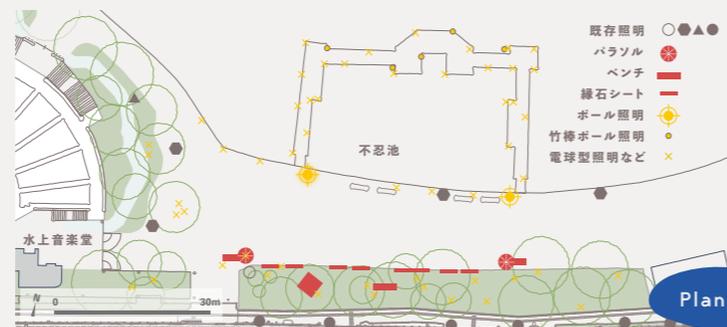
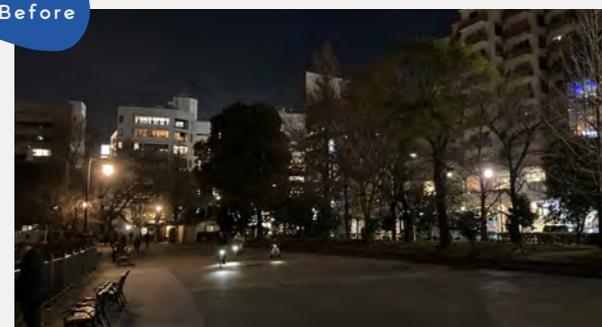
路面照度を保つ照明から、資源を照らし人が滞在したくなる照明へ

夜間の不忍池南側は、照明の暗さや鬱蒼とした植樹帯により人々が近寄りたがたい空間だった。そこで、植栽や池を照らして滞留空間を設え、通りから人の姿を可視化することで、空間の魅力を向上させ、いけ・まち間の回遊性を高める実験を行った。

After



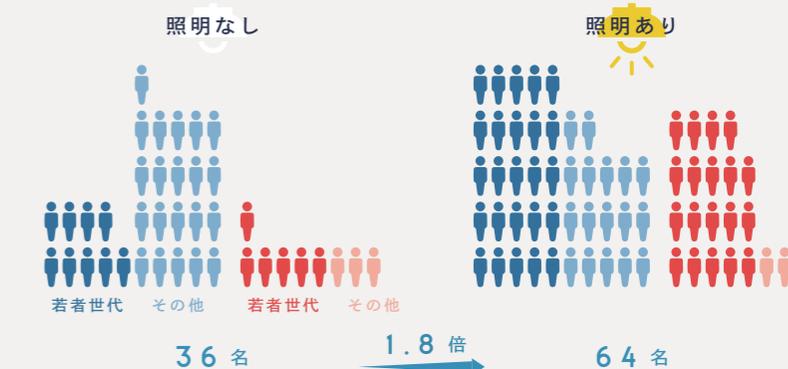
Before



明るく照らされた不忍池周辺を多くの方が快適に滞留



夜間の滞留者数が増加し、男女ともに特に若者の滞留が増えた



調査日時	17:00	19:00	20:00	場所	内容
照明なし	9/27 火	9/27 火	9/27 火	不忍池南側公園内	スキミング調査による滞留者数合計
照明あり	9/22 木	9/26 金	9/26 金	不忍池南側公園内	平日・晴天時・3時点(左記時間帯)

池や植栽が照らされ、歩きやすくなったと好評の声

通りと公園がより繋がったと感じる
 居心地がよくなり滞在しやすくなった
 通りも公園も安心して過ごせる



通行者へのアンケート調査 (n=37)

不忍池ブックカフェ 池のほとりの本のみち

action 2: 公園 & 道路一体活用実験イベント

日時: 2023年10月28日(土) 15:00 ~ 20:00

29日(日) 10:00 ~ 15:00

主催: しのばずいけまち研究会+上野元黒門町会+池之端仲町商店会

後援: 台東区 + 上野観光連盟



》》 不忍通りの1車線を活用した不忍池と一体となった空間づくりの試み

不忍通りの車道の一部を人のための空間に転用し公園と道路の境界を弱め、賑わいが道路に溢れ出すまちの未来像を共有する。界隈の文化を表現する本・雑貨・飲食を巡り、色んな角度から場の豊かさを体感してもらう。

Sketch



Before



After

新たな空間の広がりや、見え方、楽しみ方が生まれたのがよかった

池のほとりの開放的なブックカフェ空間、思わず長居してしまった



ちょうどよい規模感で、夜も素敵な空間ができていた

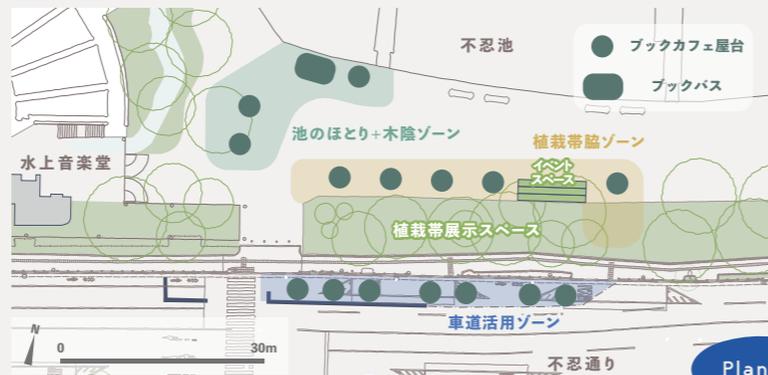


持ち寄り本棚での本の交換は初めての経験だったが、気になる新しい本と交換できた



20の屋台と3つのワークショップ (五十音順・敬称略)

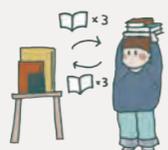
- | | |
|-----------------|------------------------|
| 赤井都 (言壺) | ものはいよう |
| 鶯谷ハニーラゴ | 夜学バー |
| うさぎや CAFE+ 金の星社 | BAR LEON |
| (株) えほんの社 | Books&Coffee 谷中 TAKIBI |
| 小池屋 | LE PETIT PARISIEN |
| 古書ほうろう | NIR IDENTITY&BOOK |
| SANT JORDI | 古書みつけ 浅草橋 |
| しのばずスーパー | Rinne.bar / リンネバー |
| シノバズブルワリーひつじあいす | |
| しのばず和めぐりの会 | 投扇興体験会 |
| 東京かわら版 | 「はちみつのひみつ」紙芝居ライブ |
| (株) フォーネット社 | パパ's 絵本ライブ |



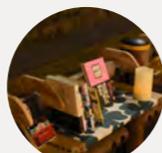
Plan

老若男女、多数の方々が池とまちを回遊

持ち寄り本棚



来場者が持ち寄った本を会場の「持ち寄り本棚」の本と交換。



寄生型本棚



寄生型屋台



模型



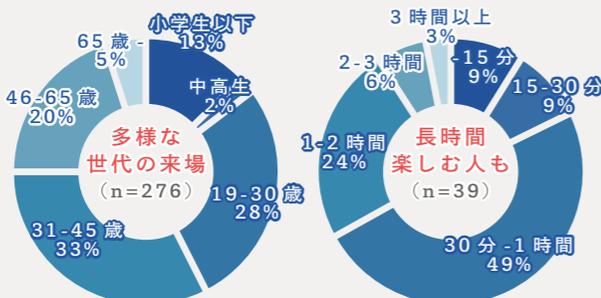
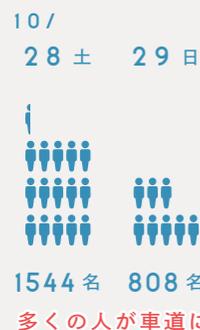
歴史展示



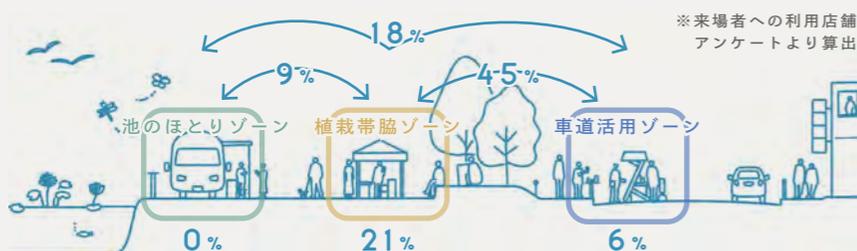
文化を感じさせる店舗



夜の空間の演出



いけからまちへ、まちからいけへ



出店者からも好評の声

普段はない面白い光景が

- ・多様な空間が出来上がり、来場者の居場所を選択肢の幅ができた
- ・車道で吞んでいる姿、普段はない光景！

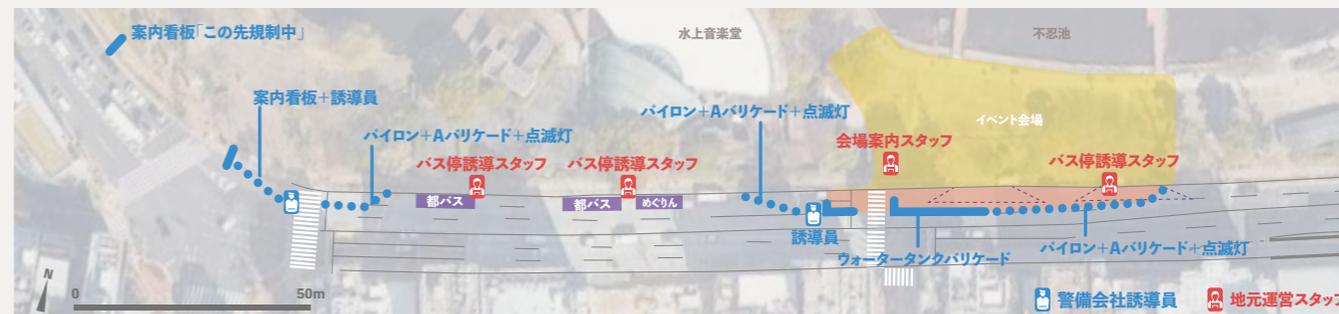
会場の設えが好評

- ・オリジナルなファニチャなどがあり、とても雰囲気よかった
- ・あちこちに本棚があるのが面白かった

イベントとしても成功

- ・これまで出店したどのイベントよりも本が売れた！
- ・来年も是非参加したい

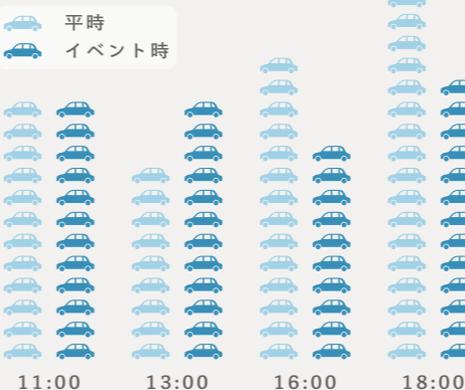
交通の流れと安全性を両立させながら開催



車道は道路使用許可を取得して活用することとし、ウォータータンクバリケードとA型バリケードで安全性を確保したほか、専任の誘導員ならびにバス停誘導スタッフを配置したことで、車両誘導や仮バス停への誘導もスムーズに行われた。

周辺交通への影響は最小限

イベント時と平時の交通量の差は小さく、イベントによる影響は見られなかった。



日時 平日 : 23年12月2-3日
イベント時: 23年10月28-29日

場所 不忍通り上野四丁目交差点

内容 10分間の赤信号での自動車停車台数を調査

新たな試みが好評だった車道活用ゾーン



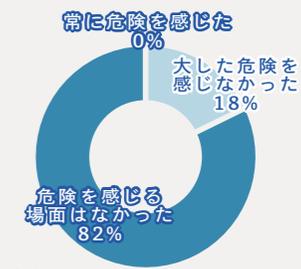
視認性が高く、反対の道路からでも行きたくなくなった

無機質な車道が豊かな空間に変わり、公園の空間が広がったように感じた

車道活用ゾーンの出店者からも安全性に定評

会場のデザインにも工夫があり、特に危険を感じる場面はなかった

バリケードがあったことで、後ろを通る車も気にならなかった



Q. 出店中、危険を感じた場面は？ (n=17)

“三角広場”日替りブックカフェ

action 3: 不忍通りほこみち社会実験 2023 秋

日時: 2023年11月25日(土)～27日(月)、12月2日(土)～4日(月)
11:00～17:00
主催: しのばずいけまち研究会+上野元黒門町会+池之端仲町商店会
後援: 台東区



「歩行者利便増進道路(ほこみち)」指定を目指した社会実験

不忍通りに池と街をつなぐ文化発信スペースづくりを「ほこみち」制度の適用を念頭に短期目線で進めるアクション。地下駐車場出口脇の歩道上にある通称「三角広場」に着目し、仮設の店舗と展示・滞留スペースを設置した。

来場 222 名、三角広場の活用に肯定的な意見が多かった

東京都と警察の許可を得た公式な社会実験として、来場者へのアンケートを実施し、50名を超える方々から三角広場に対する声を収集。いただいたご意見を踏まえ、今後の活用を続けていきたい。

After

スケール感がちょうどよかった

こういう場所をどんどん増やしてほしい

外国人の方やペット連れの方も!

マルシェやミニフリマなどに向いていそう



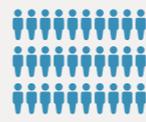
Before



Sketch



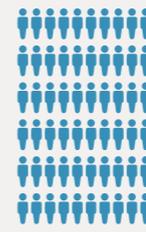
11/25 土
晴: 13°C
w/ SANT JORDI



30名



11/26 日
時々小雨: 7°C
w/ うさぎやCAFE



60名



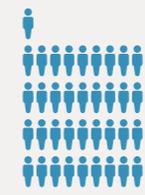
11/27 月
晴: 16°C
w/ SANT JORDI



21名



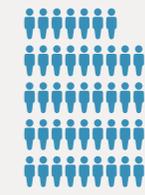
12/2 土
晴: 13°C
w/ 夜学バー



41名



12/3 日
晴: 15°C
w/ 夜学バー



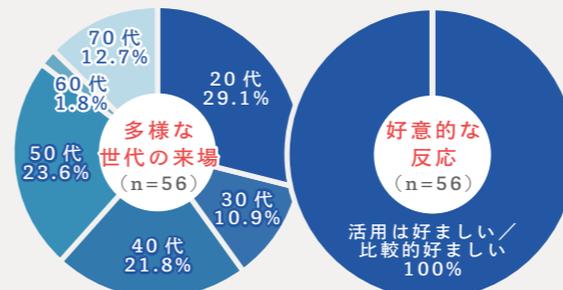
47名



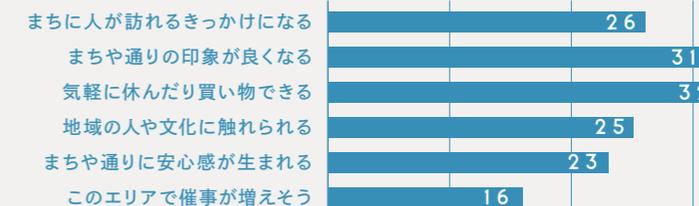
12/4 月
晴: 14°C
w/ 夜学バー



23名



日常的な印象、機能、環境が向上することへの期待の声



Q. 三角広場の活用が好ましいと思う要因は? (複数選択、n=56)

この冊子について

『しのばずいけまち研究会 コンセプトブック 2021-2023』

2024年3月23日発行

発行：しのばずいけまち研究会

作成：東京大学大学院都市デザイン研究室



研究会参加メンバー

赤松 京佳（東京大学）

阿子嶋 翔（東京大学大学院）

新榮 宏茂（池之端茅町町会）

飯島 充実（株式会社アミューズ）

飯島裕佳子（NSKREホスピタリティ株式会社）

五十嵐泰正（上野まちづくり協議会）

大谷 宗徳（日鉄興和不動産株式会社）

岡 侑之助（筑波大学）

小野 道生（株式会社都市計画設計研究所）

勝瀬 信（日鉄興和不動産株式会社）

近藤 剛司（台東区立下町風俗資料館）

齋藤 唯史（日鉄興和不動産株式会社）

末次 孝行（日鉄興和不動産株式会社）

鈴木 大輔（日鉄興和不動産株式会社）

高澤 豊希（日鉄興和不動産株式会社）

橘 俊輔（東京大学大学院）

谷口 拓也（うさぎや）

竹内 敬一（十三や商店）

辻岡 長之（日鉄興和不動産株式会社）

土肥 好美（伊豆榮）

道明葵一郎（有職組紐道明）

中島 直人（東京大学大学院）

永野 真義（東京大学大学院）

二谷 仁吾（小池屋呉服店）

平野 真帆（東京大学大学院）

深澤 文（千葉大学）

福岡 俊弘（合同会社スノウクラッシュ）

藤井 靖子（きもの池之端藤井）

藤井裕美子（きもの池之端藤井）

萩原 良季（日鉄興和不動産株式会社）

前川 弘美（長岡商事株式会社）

水野 謙吾（東京大学大学院）

宮内 雅康（有限会社宮内写真場）

元吉 千遥（東京大学大学院）

森重 伸悟（元黒門町町会）

森田 葵（東京大学大学院）

山内 瑞樹（東京大学）

山口 康平（日鉄興和不動産株式会社）

山田 真子（東京大学大学院）

吉川恵理子（株式会社パルコ）

和栗千明姫（東京大学）

（五十音順・敬称略）

一緒に活動してくれる方を募集しています。

2024年度以降も定期的な活動を続けます。

活動に参加してみたい方はお気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ先：しのばずいけまち研究会事務局（東京大学大学院都市デザイン研究室内）

shinobazu-ikemachi@ud.t.u-tokyo.ac.jp

しのばずいけまち研究会
Twitterはこちら▼



